



福士 慎也さん
(織笠・27歳)

お客様に最高の一台届けたい

★どんな仕事をしていますか
大槌町にある自動車販売店に勤めて六年になります。営業を主に担当しています。

★仕事で心掛けていることは
車を買っていただいたお客様に、最高の状態で車をお渡しすることを常に心掛けています。

★仕事でうれしかったことは
毎年系列会社で接客技術を競うサービス技術大会が行われま

すが、一昨年その全国大会で準優勝に入賞したことです。この大会では接客だけでなく、詳しい商品知識も必要になるのでとても大変でしたが、準備勝できてうれしかったです。

★趣味・特技は
今年で七年目になるスノーボードです。北上の夏油高原が好きでよく行っています。これからの季節が楽しみです。

★理想の女性像は
普段は強気な感じでも、本当は寂しがりや〜みたいな女性が好きです。

イラスト



★ウルスの動く城(10) 高橋直也(7)

佐々木美里(9) TOMATO(15)

おのほるな(6) デビルバツ★(11)

威繪甚癒(15)

シャーマン(?) 昆夏海(12)

★アイスクリム(88) 伊藤有紗(12)

伊藤有紗(12) 稲川美里(11)

佐々木亜梨香(13) F2(17)

杏草子(15) 湊優紀美(9)

牡羊座★(?) 佐藤リョウ(12)

年中子供たちの遊び場。正月も楽しく、小正月も過ぎると雪がたは泥土などをふき取り、洋服と翌年の正月用にと「とっとき」とした。そのことで子供心に情も分かった。七十歳になった今も、心は常に故郷につながっている。

菊地サカエ(織笠・69歳)

希望を胸に新年の参拝

一年の計は元且にあり、今年こそはと老若男女問わず夢と希望を胸に神社に参拝すると思う。私儀ながら家内安全、航海安全、

また健康で暮らせますように熱き思いを胸に内神様に新年の参拝をした。昔から先祖たちも同じ思いだったと思う。素晴らしい習慣を後世に伝承したことに対しありがたく思う。

山崎泰司(船越・58歳)

織笠川河口に白鳥飛来

八羽の白鳥が織笠川河口に飛来しているのを確認したのは十一月の半ばでした。二十日程経過しても居るのは、場所を気に入ったからなのでしょうね。私たちが子供のころはたくさんお

りましたが、戦後、突然飛来しなくなりました。

白鳥は車から降りる人たちに首を振り振り、手をうれしうに見上げながら投げ与えてくれる餌をついばんでいました。来年は仲間を連れてくるでしょうね。皆でかわいがってやりましょう!

ペンネーム・一声 (織笠・68歳)

◇ 火棘つばら実炎えて雪に映え
◇ 新しき歳暮ぐごとし
◇ 佐藤美栄子(大沢・83歳)
◇ 新年を間近に迎へ福を待つ
◇ 佐藤菊實(荒川・76歳)
◇ 妻の意に副一年の瀬に新年を迎える居間の煤払いけり
◇ 齋藤忠雄(船越・79歳)
◇ あらた年
◇ 千支は酉年にわとりは
◇ 三歩あゆめば忘ると言うが
◇ 歩まぬうちに忘るるわたし
◇ それでも結構コケッココ
◇ 元気にはばたき暮らしましょう
◇ 美智子(八幡町・?歳)
◇ 申も去り酉を迎えて良き年を
◇ 松崎静雄(船越・?歳)
◇ 新春の初日をおがみ
◇ 神佛によきことあれかしと
◇ 祈るのに悪いことのみ多くあり
◇ 日々のニュースの悲しかりけり
◇ 甲斐谷七チ(八幡町・89歳)

みんなのスペース



なかの あゆか ちゃん
(山田中央保育園・5歳)

わたしのゆめ
大きくなったら保育園の年長組の先生になって、大好きなピアノを弾きたいな。

投書
どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

街灯をもっと増やして
暗くなるのが早いこの時期、必ず思うことがあります。町内の街灯の数が少ない上、肝心な所に無く大変危険に思うことです。今年、中学校に入った娘の部活動で学校や織笠の体育館へ迎えに行くことがあり、そのたびに織笠方面や境田、長崎方面へ歩いていく子供を見掛けます。今、子供が連れ去られるという事件も起きており、早く街灯を取り付けてほしいと思います。さくら幼稚園周辺にも街灯を増やしてください。ほかにもたくさんあると思いますが、まずは子供たちを守るため、町内の街灯の見直しを強く願います。

阿部千賀子(長崎・38歳)

【回答・地域整備課】
ご提言ありがとうございます。小中学生の通学路の安全を図るため街灯の設置を心掛けていますが、年間予算に限りもあり、また老朽化により倒壊しそうな

お座敷列車 山田町民号を運行 鳴子温泉へ出掛けよう

2月5日(土)~6日(日)

第29回山田町民号が運行されます。お座敷列車「ふるさと」で行く1泊2日の旅です。どしどしお申し込みください。

◆日程 5日…ふるさと歴史館、酒ミュージアム見学
6日…間けつ泉、鳴子熱帯植物園、結の郷おんべこ見学

◆宿泊先 鳴子観光ホテル(鳴子温泉)

◆旅行代金 29,000円

◆募集定員 90人(最少催行人員70人)

※定員になり次第締め切ります。

◆申込先・問い合わせ JR陸中山田駅(☎82-2138)へ。

列車で温泉の旅を楽しみませんか